

CONTENTS

Compliments

- 開会宣言/実行委員長 中国・地域づくり交流会 会長 平岡 敬 氏 2
- 歓迎あいさつ/国土交通省 河川局 河川環境課長 岡山 和生 氏 2
- 歓迎あいさつ/加計町長 佐々木 清蔵 氏 3
- 歓迎あいさつ/国土交通省 中国地方整備局 河川部長 久保 省吾 氏 3

Workshop & Fieldwork

地球規模でますます深刻化する水をめぐる環境問題……。3月の「世界子ども水フォーラム」で学んだり気づいたりしたことを活かして、一歩進めよう。

問題解決に向けて子どもは「何をしなければならないのか」また「何ができるのか」を6つの分科会に分かれて話し合いました。

いろいろな分野の専門家や経験者からなるアドバイザーの情報提供やフィールドワークで体験したことを、大学生を中心とした11人のファシリテーターと一緒にになってそれぞれの分科会で、貴重な意見やアイデアを取りまとめました。

分科会①
川遊びみんな川で
遊ぼうよ

4 5

分科会②
水質近くの川は
きれいですか

6 7

分科会③
流域上流の暮らしは
どうなっ
ているのだらう

8 9

分科会④
水利用いつも使う水は
どこからくるの

10 11

分科会⑤
川に学ぶ川好きな友達を
いっぱい作ろう

12 13

分科会⑥
いい川づくり快適な暮らしと
環境保全と

14 15

Report

- 分科会報告 16

Declaration

- 全体宣言文 17

世界子ども水フォーラム・
フォローアップin広島 とは…

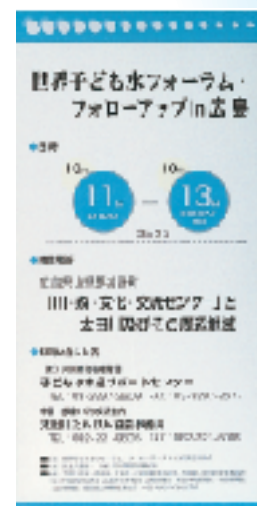
私たちの身近にある水をめぐる環境問題は、日本ばかりではなく地球規模となっております。そこで、ますます深刻化する世界の水問題を解決するために、行政・市民・学識者などのさまざまな分野の人たちが世界中から集まり、本年3月「第3回世界水フォーラム」が京都・滋賀・大阪において開催されました。

この中で主要な分科会のひとつとして『世界子ども水フォーラム』が開催され、日本を含む32ヶ国 109名の11歳から18歳までの子どもたちが参加しました。

このフォーラムに、水辺環境の保全を問題として日本から参加した子どもたちは、世界では生きるための飲み水の確保さえも困難な状況にあるたくさんの人々がいることを実感し、世界の国々で抱えている水事情や水に対する価値観が多様であることを認識し、これを機会にして子どもとして何ができるのか、また、何をしなければならないのか、子どもたちで交流や意見交換をしてみたいとの意見が多く出されました。

そこで、広島県の太田川上流の加計町に日本の将来を担う子どもたちに集まってもらい、世界子ども水フォーラムでの経験と成果が継続したものとなることを期待し、子どもたちの企画や提案を中心とした「世界子ども水フォーラム・フォローアップin広島」を開催することとなりました。

発表会や分科会のようす

体験あり、学びあり、
交流あり、充実度満点、
子どもたちが過ごした3
日間のスケジュール1日目
10月11日(土)

- 開会式、「平和と水」についての基調講演
- 世界子ども水フォーラムについての発表、ワークショップについての研修
- 神楽見学や映画上映で自由時間を楽しむ

2日目
10月12日(日)

- フィールドワーク(草木染め・加計町内散策・太田川鍋下ごしらえ・温井ダム見学)
 - 太田川鍋(昼食)
- 6つの分科会 話し合いとまとめ
 - 宣言文草案づくり
 - 個人交流、ネットワークづくり

3日目
10月13日(月)

- 全体会議(分科会報告・全体宣言文発表 ほか)
 - 閉会式
- 加計町を出発 解散後各地へ

会場/川・森・文化・交流センター

